

JA こうか特別栽培米生産部会総会で 良食味生産向け「みずかがみ」を特別栽培米に

2 月 7 日(土)に JA こうか特別栽培米生産部会総会が開催され、良食味米生産に向け 27 年産から近江米新品種「みずかがみ」を新たに特別栽培米の対象品種に加えることが決定されました。

当部会は、会員 719 名、作付面積 872ha で、環境こだわり基準で水稻を栽培しています。

甲賀地域では、水稻作付面積の 65.7%で環境こだわり米が栽培され、このうち 4 割が当部会員による栽培で、品質面でも県平均を上回る当地域の 1 等米比率をさらに上回る好成績を毎年あげています(H26 産県うるち 51.7%—甲賀うるち 65.3%—特栽培米 3 品種 67.1%)。

部会では、良食味米生産に向け土壌診断とすべての部会員の米について食味計と穀粒判別機による分析を行い、その結果を各部会員に「お米の通信簿」としてフィードバックするとともに、総会において成績上位者が表彰されました。

当課からは、管内 6 地域で設置した良食味米生産展示ほと「みずかがみ」展示ほの結果やカドミウム低減対策、土づくり技術の説明を行いました。また、「売れる米づくり」と題して、阪神米穀の田中社長に基調講演をいただきました。

26 年度、新品種「みずかがみ」は甲賀地域で 147ha の栽培がありましたが、会場入り口にパネルを展示するとともに 27 年産「みずかがみ」栽培申込書を配布し、倍増となる目標 300ha に向けて作付面積の拡大、新規作付けを呼びかけました。

今後も良食味米の生産を推進するため、展示ほでの調査を継続し、結果を地域別、土壌タイプ別に整理し、土づくりや肥培管理の改善に向けた技術支援を行うこととしています。



【JA こうか特別栽培米生産部会 報告】

展示ほ調査結果等について説明
(H27. 2. 7)



【「みずかがみ」パネル展示と 27 年産栽培申込書の配布】

(H27. 2. 7)